

令和3年度 妻ヶ丘中学校 よりよい学校づくりのためのアンケート結果 【知 育】

* 評価は4段階(「4」は良好「3」概ね良好「2」一部課題が見られる「1」課題がある)

No.	項目	評価結果	評価	自己評価(○成果 ●課題)	次年度に向けて(☆学校運営協議会◎改善策)
1	分かりやすい授業が行われていると思いますか。	<h3>1 分かりやすい授業</h3>	3	<p>△全体的には昨年度とあまり変わらない結果となった。</p> <p>○今年度は、学年事の参観日を分散開催で実施、子どもたちの授業の様子を参観してもらった。</p> <p>○生徒・保護者とも8割以上が授業が分かりやすいと回答している。</p> <p>●職員の評価から「とてもそう思う」の割合が低くなっているのが気になる。</p> <p>●子ども一人一台のタブレットが導入され使用させる場面が増えているが、学力向上に向けて効果的な使い方を検討していく必要がある。</p>	<p>◎ICT機器(タブレット)を活用した授業改善・工夫</p> <p>◎授業が分からない生徒への個別指導の時間確保 →通級指導教室担当との連携</p> <p>◎個別最適化の学習の推進</p> <p>☆コロナ禍の影響で、できていない授業公開の計画的な実施 →「地域に開かれた教育課程」を目指して</p>
2	授業に集中していると思いますか。	<h3>2 授業に集中</h3>	2	<p>●「とても集中できている」の割合が昨年度からすると低下している。集中力低下の要因が何なのか調査する必要がある。</p> <p>△職員の約6割が授業に集中していると回答している。</p> <p>△生徒の評価で、「とても集中」と「まあ集中」の割合の合計は昨年度とあまり変わっていない。</p> <p>●職員評価をみると、約40%があまり集中していないと回答しており、生徒の自己評価と乖離している結果になっている。 この結果とテスト等の結果を比べてみると、生徒の意識改革及び授業づくりの工夫・改善が求められると感じる。</p>	<p>◎家庭生活の状況を調査 →課題とされる「携帯・スマホ・ゲーム」等の使用時間調査 →睡眠時間の調査 ※調査結果から考えられる課題等を洗い出し、対応・対策を検討する。</p> <p>◎立腰指導の強化</p> <p>◎基本的な授業への受け方等、継続的な指導を行う。 →小中連携において、指導の積み上げをしていく必要がある。</p> <p>☆コロナ禍の影響で、できていない授業公開の計画的な実施 →「地域に開かれた教育課程」を目指して</p>
3	家庭学習をきちんと行えていると思いますか。	<h3>3 家庭学習</h3>	2	<p>●昨年度の結果と比べると、全体的に家庭学習をしっかりとやれていない生徒が増加している傾向にある。保護者の半数は、できていないと回答している。職員に至っては、8割ができていないと回答しており、かなり気になる数値である。</p> <p>●家庭学習の習慣化を図る手立てが必要と思われる。生徒の取組が中途な状況が窺える。学習環境を整えるために保護者の協力が必要不可欠であり、啓発活動を強化すべきである。</p>	<p>◎学校から家庭へ、家庭で学習するものを保護者に案内し、実際の状況を確認してもらう。</p> <p>◎家庭学習の習慣化を目指して、保護者との連携を密にし、家庭学習の取組について指導・支援を繰り返す。</p> <p>◎定期テスト前のマイプランシートの有効活用を継続的に行う。</p> <p>◎コロナ感染による、自宅で生活する時間の有効的な時間の使い方について、生徒だけでなく保護者へ啓発、呼びかけを行う。</p>